

## オンラインシラバス 中学1年生 本科

国語	-----	2
地理	-----	3
数学 $\alpha$	-----	4
数学 $\beta$	-----	5
理科 I	-----	6
理科 II	-----	7
英語	-----	8
English	-----	9

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	国語	本科	5	河野・蔭木

### 到達目標

- ① 説明的文章については、精緻な文章読解を通じ、筆者の主張を正確に理解する力を養う。
- ② 文章の読解を通じ、社会的な課題や哲学的な論点についての視野を広げるとともに見識を深める。
- ③ 筆者の主張を多角的に検討し、地震の意見を主体的に構築・表現しうる力を養う。
- ④ 自分の意見を発表したり記述したりする訓練を通じ、レポートや論文を書くための素養を身につける。
- ⑤ 文学的文章については、表現の豊かさを味わい、その表現の機微を敏感に捉える。

### 授業の進め方・学習方法

集団授業を基本とし、ディスカッション、発表などの取り組みを通して自分の意見を構築・発表します。  
漢字テストや単元のテストはその都度告知します。

### 授業スケジュール

1学期	【現代文】 評論「全ては編集されている」(池上彰) 小説「ベンチ」(ハンス＝ペーター＝リヒター) 【古典】 口語文法「言葉の単位、動詞、形容詞、形容動詞」	1学期中間試験
1学期	【現代文】 小説「蜘蛛の糸」(芥川龍之介) 評論文(発展的な文章の読解) 【古典】 文語文法「歴史的仮名遣い」 「竹取物語」など	1学期期末試験
2学期	【現代文】 小説(発展的な文章の読解) 評論文(発展的な文章の読解) 【古典】 文語文法「動詞」 「枕草子」「徒然草」など	2学期中間試験
2学期	【現代文】 小説「オツベルと象」(宮沢賢治) 評論文(発展的な文章の読解) 【古典】 文語文法「形容詞・形容動詞」 「方丈記」など	2学期期末試験
3学期	【現代文】 小説「少年の日の思い出」(ヘルマン・ヘッセ) 評論文(発展的な文章の読解) 【古典】 文語文法「用言の活用総まとめ」漢文基礎「書き下しのルール」 「宇治拾遺物語」「論語」など	学年末試験

### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心として平常の活動を含み総合的に評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

### 教科書・教材

書名	出版社	備考
伝え合う言葉 中学国語1	教育出版	
意味から学ぶ頻出漢字3000	第一学習社	
Sirius21発展編 国語Vol.1	育伸社	

### 担当者からのアドバイス

世界には、膨大な数の言葉と文章が存在します。先人たちがそれぞれの持つ視点や考え方を表現して残してくれたものであり、これらはすべて人類の財産です。国語の授業ではそれらを読み解き、心と頭を動かすことから始まり、今度はみなさん自身が表現する力を身につけることにつなげます。新たに出会う文章を積極的にインプットするとともに、それを通して得た知識や考え方を自分のものにするためにアウトプットを重ねましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	地理	本科	3	釣田

到達目標
<p>世界地理分野の自然環境・気候・産業構造・文化的特色について、中学の基礎的内容から高校地理レベルの学習内容までの習得を目標とするとともに、現代世界の諸問題に関する考察能力を身につけます。</p> <p>[中期] 地理的技能、地理的な見方や考え方の獲得、中学校の基礎レベルから大学入学共通試験レベルの問題で得点できる実力を養います。</p> <p>[長期] 特に現代世界の諸問題に関して、資料から論述問題に対応できる思考力を身につけます。</p>

授業の進め方・学習方法	
1. 世界のニュースを取り上げ、現代の諸問題を地理的事象に結び付けて解決策を見出すアクティブラーニング 2. 講義とともに個人で地図作成し、グループ討議しながら、記憶にとどまらない深い知識の学びを経験 3. ICT機器を利用し、諸地域の問題を地理的アプローチで学習 4. 確認テスト	
1学期	地理の基本的知識 (1) 地球の概要 ・六大陸と三大洋 ・緯度と経度 ・時差 (2) 気候 ・世界の気候 ・大気循環 ・気温/降水量 など ・世界の諸地域の人々の暮らし
1学期中間試験	
1学期	アジア地誌 ①東アジア 自然環境・農業・人口と民族・工業アジア地誌 ②東南アジア 自然環境・社会・農業・工業化・ASEAN ③南アジア 自然環境・社会・農業・工業・宗教
1学期期末試験	
2学期	アジア地誌 ④西アジア 自然環境・社会・農業・工業化  アフリカ地誌 自然環境・社会・食料問題・人口問題・格差・農業・資源
2学期中間試験	
2学期	ヨーロッパ地誌 自然環境・農業・工業・宗教・民族問題・EU  北アメリカ地誌 (アメリカ合衆国) 自然環境・農業・工業・社会
2学期期末試験	
3学期	南半球の地誌 自然環境・農業・工業・社会
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	・中間・期末試験 (1・2学期)、学年末試験 (3学期) ・課題レポート・ノート提出・※授業姿勢など
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
中学生の地理	帝国書院	
世界の諸地域NOW2026	帝国書院	
中学社会地図	帝国書院	

担当者からのアドバイス
<p>地理は「今」を読み解く学問です。今、地球で起きているさまざまな現象には必ず理由があるはず。「なぜ」そうなったのか。常に考える習慣をつけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身ではなく、手や頭を動かして、積極的に授業に参加しましょう。</li> <li>・予習は必要ありませんが、50分でよくわからなかったことや気になることは自ら学習を深めましょう。</li> <li>・地理の授業を受けるときは地図帳を常に開ける状態にしておきましょう。まずはその地域についてイメージすることが大事です。</li> <li>・単なる暗記ではなく地理的思考力を身につけることを狙っています。</li> <li>・世界の地理を学ぶことで、世界のニュースをより身近に感じることが出来ます。知識を頭書き込む暗記ではなく、心に書き込むことで、自分の考えを論理的に説明できる中学生を目指しましょう。</li> </ul>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学α	本科	3	渡邊

到達目標
数や計算の仕組みを考え、論理的に説明する力を養う。基本的な計算力をつけると共に、間違えた理由やより速く解く工夫を意識する力を身につけたい。さらに、自分で考えたり、友人と意見交換しながら、表現力や説明する力を身につけ、答え至上主義ではない姿を目指す。

授業の進め方・学習方法
<p>&lt;授業の進め方&gt;  計算演習の時間を取り、高い計算力を身につけていく。また、自ら考える姿勢を大切にするとともに自身の考えを発表する機会も設ける。内容の定着を確認する小テストを適宜実施する。分野によっては中学範囲にとどまらず高校範囲の内容にも踏み込み、効率的に学習し本質的な理解を目指す。学習の理解度を見ながら、進度に幅を持たせていく場合がある。</p> <p>&lt;学習方法&gt;  授業冊子は復習をする際、最も有効な参考書となるため、できる限り丁寧に書くこと。また、家庭学習における復習を大切にすること。授業があった日には内容の定着のために問題集に取り組み、わからないことがあれば積極的に質問に来ること。</p>

授業スケジュール	
1学期	正の数と負の数 ・正の数と負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・四則の混じった計算 文字式 ・文字式
1学期中間試験	
1学期	文字式 ・多項式の計算 ・単項式の乗法と除法 ・式の値 ・文字式の利用 方程式 ・方程式とその解 ・1次方程式の解き方
1学期期末試験	
2学期	方程式 ・1次方程式の利用 ・連立方程式利用 不等式
2学期中間試験	
2学期	1次関数 ・変化と関数 ・比例とそのグラフ ・反比例とそのグラフ ・比例、反比例の利用 1次関数 ・1次関数とそのグラフ ・1次関数と方程式
2学期期末試験	
3学期	1次関数 ・1次関数の利用 ・1次関数の応用 資料の整理と活用 ・資料の整理 ・代表と散らばり ・近似値と誤差 標本調査
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、小テストの結果・課題の提出状況・授業態度の割合が20%、合わせて100%として評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
体系数学1 代数編	数研出版	
体系問題集1 代数編	数研出版	

担当者からのアドバイス
数学は、これまでの算数とは違い答えを出す過程が大切です。理解したことをきちんと伝えられるようになります。学習中の疑問はそのまませず、必ず解消してから次に進みましょう。課題・宿題は授業で理解したことを自分で表現する大切な機会です。必ず取り組みましょう。発見する楽しさ、わかることの喜び、論理的に説明することの大切さを学び、思考力を高めていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学β	本科	3	和田

到達目標
図形を対象として、論理的に考え説明する力を養い、算数で使っていた図形の性質について証明できるようになる。 定義が何かを学び、それを利用して新たな図形の性質・定理を証明できるようになる。 また、作図を学習することで、より深い理解を目指す。

授業の進め方・学習方法
定理の証明や問題演習において、自ら考える姿勢を大切にするとともに、自身の考えを発表する機会を設けます。 また、内容の定着を確認する小テストを適宜実施します。分野によっては、中学範囲にとどまらず高校範囲の内容にも踏み込み、効率的に学習し本質的な理解を目指します。 家庭学習における予習・復習を大切にすることで理解の定着を図れます。授業があった日には、授業の内容の復習をし、課題に取り組むことで理解を確認しましょう。

授業スケジュール	
1学期	第1章 平面図形 1.平面図形の基礎 2.図形の移動 3.作図 4.面積と長さ
1学期中間試験	
1学期	第2章 空間図形 1.いろいろな立体 2.空間における平面と直線 3.立体のいろいろな見方 4.立体の表面積と体積
1学期期末試験	
2学期	第3章 図形の性質と合同 1.平行線と角 2.多角形の内角と外角 3.三角形の合同 4.証明
2学期中間試験	
2学期	第4章 三角形と四角形 1.二等辺三角形 2.直角三角形の合同 3.平行四辺形 4.平行線と面積
2学期期末試験	
3学期	第4章 三角形と四角形 5.三角形の辺と角
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80% 小テスト・課題提出状況等を20% 合わせて100%として評価する
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
体系数学Ⅰ 幾何編	数研出版	
体系問題集 幾何編	数研出版	

担当者からのアドバイス
数学は、これまでに分かってきたことを利用して新たなことを発見し、追及してきました。日々の授業で学習した内容は、次の学習の基礎となります。授業で生じた疑問はそのままにせず、その都度確認していきましょう。理解した内容を口頭で、そして文章で伝えられることを目標にしましょう。発見する楽しさ、わかることの喜び、論理的に説明することの大切さを学んでいきましょう。そして、思考力を高め、答えを出すだけでなく、答えを導き出す過程を大切にしていきましょう

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科 I	本科	2	本橋

到達目標
化学・物理分野に関する基礎知識を学び、様々な現象や物事に興味を持たせ、科学的な視点で物事を判断する力を育てる。

授業の進め方・学習方法
教科書をベースとしたプリント教材を用いて進める。 実験を実施する。実験に関する内容も定期試験範囲に含める。 自分の理解度に合わせ、適宜問題集等を利用して復習を行うと良い。

授業スケジュール	
1学期	【第1章 身の回り物質】 第2節 物質を作る原子・分子  【第6章 化学変化とイオン】 第2節 電子配置とイオンの生成
1学期中間試験	
1学期	【第7章 化学結合と物質の分類】 第1節 化学結合とは  ※以下の範囲は授業で多くは取り上げないが、実験で扱うため自分で学習しておくこと。 【第1章 身の回り物質】 第3節 密度  【第2章 水溶液】 第2節 溶解度と再結晶
1学期期末試験	
2学期	【第7章 化学結合と物質の分類】 第1節 化学結合とは 第2節 物質を大きく5つに分ける  【第1章 身の回り物質】 第1節 物質とは  (以上で化学終了。以下物理。) 【第1章 光と音の世界】 第1節 光の世界
2学期中間試験	
2学期	【第1章 光と音の世界】 第1節 光の世界 第2節 音の性質 第3節 波の性質  【第2章 力と圧力】 第1節 力
2学期期末試験	
3学期	【第2章 力と圧力】 第1節 力  【第5章 力と運動】 第1節 力の合成・分解と力のつり合い  【第2章 力と圧力】 第2節 圧力と浮力
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を主として、授業・課題の取り組みや小テスト結果を加味する。 また、実験時の態度についてはより注意深く評価する。「安全」を第一に、先生の指示を正しく守り行動すること。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
系統的に学ぶ中学化学 / 物理	文理	
系統的に学ぶ中学化学 / 物理 問題集	文理	問題集
フォトサイエンス化学図録 / 物理図録	数研出版	資料集

担当者からのアドバイス
中学3年間をかけて学んでいく化学・物理の第一歩です。暗記や計算が多く嫌いに感じる人もいるかもしれませんが、ここで学んでいく知識が日常へと利用できるよなったり、逆に経験から予測することができるようなものもあります。ただ学ぶだけではなく、「どう利用できるか？」という所まで知ること、科学・物理って面白い！と感じられるようになってくれると良いと思います。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科II	本科	2	木津

到達目標
<p>第一学期は、生物ならではの特徴と、観察、記録の方法を学びます。          第二学期は、観察のポイントを踏まえて、植物の器官の構造とはたらきについて学びます。また、動物の行動に関する事項を学びます。          第三学期は動物の体内で行われている営みを学びます。          それぞれの学期で学んだことを論理的に整理し、身近な生物の活動について、各自が探究できるようになってほしいところです。</p>

授業の進め方・学習方法
<p>文理の教科書を使用して授業を進めます。          定期試験には、授業で扱った事項の他、理科実験で扱ったものも出題されます。          第一学期期末試験以降は、それ以前に学習した範囲も出題されます。</p>

授業スケジュール	
1学期	<p>第1章 生物とは          第1節 生物の基本単位—細胞・第2節 単細胞生物から多細胞生物へ・第3節 生物のなかま分け          第2章 植物の世界 第3節 植物の移り変わり          第3章 動物の世界 第4節 動物の分類          &lt;定期試験範囲&gt;          系統分類・生物の進化・植物の進化・動物の分類・菌類・原生生物・原核生物について。          理科実験も試験範囲とする。</p>
1学期中間試験	
1学期	<p>第4章 植物でも動物でもない生物          第1節 菌類・第2節 原生生物・第3節 原核生物          第1章 生物とは 第4節 身近な生物の観察          第2章 植物の世界 第1節 植物の増え方          &lt;定期試験範囲&gt;          顕微鏡、生物の観察、花、種子植物、裸子植物、コケ・シダ類について。          1学期中間の範囲と理科実験も試験範囲とする。</p>
1学期期末試験	
2学期	<p>第2章 植物の世界          第2節 植物が生きるしくみ・第3節 植物の移り変わり          &lt;定期試験範囲&gt;          植物の器官と分類、光合成、植物群落、遷移について。          理科実験も試験範囲とする。</p>
2学期中間試験	
2学期	<p>第3章 動物の世界          第1節 動物の行動のしくみ          &lt;定期試験範囲&gt;          刺激、反応、目、耳、神経系、骨格、筋肉について。          2学期中間試験の範囲と理科実験も試験範囲とする。</p>
2学期期末試験	
3学期	<p>第3章 動物の世界          第2節 食物の消化と吸収          第3節 血液の循環と不要物の排出          &lt;定期試験範囲&gt;          栄養分、消化、血液、肺、肝臓について。          1学期、2学期の範囲と理科実験も試験範囲とする。</p>
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	「理科」の評価は、理科第1分野と第2分野を合算した点数をもとに算出されたものと、理科実験のレポートの質や実験への取り組み等でつけられます。これらの評価をもとに、年度末には「理科」としての成績が算出されます。各定期試験の範囲は、各学期の学習内容を参考にしてください。また、期末試験には、その学期の中間試験の範囲も含まれます。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
系統的に学ぶ中学生物	文理	
系統的に学ぶ中学生物 問題集	文理	
フォトサイエンス 生物図録	数研出版	

担当者からのアドバイス
<p>かつて「生命力」という不思議な力で信じられていた生物は、今やその仕組みの多くが解明されつつあります。不思議に見える生物の仕組みを学習し、巧妙なプログラムを知りましょう。花が咲いていることも、何気なく食べ物を食べて消化していることも、しくみを知るとそこには思いもよらない綿密なシステムがあります。深く知っていきましょう。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	英語	本科	3	今井・田中

#### 到達目標

- ・ 日常的な話題について、短く簡単な説明や指示を聞いて理解することができる。
- ・ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから、具体的な情報を読み取ることができる。
- ・ 簡単な語句や文を使って、まとまりのある文章を書くことができる。
- ・ 自分のことや興味のあることについて、簡単な語句を使って自分の考えを伝えることができる。

#### 授業の進め方・学習方法

- ・ 読む、書く、聞く、話すの4技能を総合的に伸ばす活動を行う。
- ・ 教科書の反復的な音読・暗唱を通して、英語の「音」と「意味」を直結させ、スピーキング力とリスニング力の向上を目指す。
- ・ 家庭学習（New Treasure準拠の文法問題集）を通して、基礎の定着、並びに幅広い応用力を身につける。
- ・ コミュニケーションツールとして活用するための土台となる英文法の基礎を固める。

#### 授業スケジュール

1学期	<<New Treasure>> Lesson 1 Lesson 2	
1学期中間試験		
1学期	<<New Treasure>> Lesson 3 Lesson 4	
1学期期末試験		
2学期	<<New Treasure>> Lesson 5 Lesson 6	
2学期中間試験		
2学期	<<New Treasure>> Lesson 7 Lesson 8	
2学期期末試験		
3学期	<<New Treasure>> Lesson 9 Lesson 10	
学年末試験		

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果及び、授業内の取り組み・提出物・小テストなどを総合的に評価する。
レポート	0～20	
小テストなど		
授業での取り組み		

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
New Treasure Stage1 3rd Edition 教科書	Z会出版	主に授業中に使用します。
New Treasure Stage1 3rd Edition 文法問題集	Z会出版	主に家庭学習で使用します。
New Treasure Stage1 3rd Edition CDs	Z会出版	主に家庭学習の音読の際のモデルとして使用します。

#### 参考書

書名	著者	出版社	備考
キクタン【中学英単語】		アルク	朝学習で使用します。

#### 担当者からのアドバイス

目で見て、声に出して、耳で聞いて、書く。この繰り返しで英語を体に染み込ませましょう。また、気になった単語は積極的に調べましょう。出会った単語、表現は反復練習をして覚えましょう。そして使ってみる事です。英会話の授業や校内でネイティブの先生、生徒に覚えた表現を使って話しましょう。言葉は使って初めて身につきます。使える英語をこの授業でしっかり学習しましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	English	本科	3	クロフト・パーカー

**到達目標**

The aim of this course is to improve all areas of English for 本科 students. We practice reading, writing, speaking, listening (and thinking), all in English. Students will gain lots of new vocabulary and practice grammar in an engaging way. The primary focus of this course is communication: students will speak a lot with one another in natural English.

**授業の進め方・学習方法**

Students will use Solutions Elementary as a base, they will also use a variety of supplementary materials, games, language aids and other resources. Students will also be encouraged to complete self-study materials which include grammar practice, reading, writing, listening and more at their own pace.

**授業スケジュール**

1学期	Active Phonics Unit IA: Personal information Unit IB: <i>be</i> and <i>have got</i> Unit IC: Talking about ability and asking for permission Unit ID: Articles, <i>the, a/an, some; this / that / these / those</i>
1学期中間試験	
1学期	Unit 1A: Family Unit 1B: Present simple (affirmative) Unit 1C: Listening: spelling and pronunciation Unit 1D: Present simple (negative and interrogative) Unit 1E: Singular and plural nouns Unit 1F: Reading: Sibling rivalry Unit 1G: Describing people Unit 1H: Writing a personal profile
1学期期末試験	
2学期	Unit 2A: Daily routine Unit 2B: Present perfect simple (affirmative) Unit 2C: Unusual schools Unit 2D: Adverbs of frequency Unit 2E: Prepositions of time Unit 2F: Reading: Dangerous journeys Unit 2G: Giving advice Unit 2H: Writing an announcement
2学期中間試験	
2学期	Unit 3A: Clothes Unit 3B: Present Continuous Unit 3C: Catwalk fashion Unit 3D: Contrast: present simple and present continuous Unit 3E: Adjectives: opposites Unit 3F: Reading: teenage pressures Unit 3G: Making arrangements Unit 3H: Writing an email
2学期期末試験	
3学期	Unit 4A: Food Unit 4B: <i>there is / there are; some / any</i> Unit 4C: Recognising unstressed words Unit 4D: <i>how much / how many, much / many / a lot of, a few a little</i> Unit 4E: Adjective + preposition Unit 4F: Reading: unusual restaurants Unit 4G: In a restaurant Unit 4H: Writing an invitation
学年末試験	

**成績評価方法**

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	60%	Two main kinds of test will be given: speaking and writing. The writing tests will be held during the regular test periods. The speaking tests are not summative, but formative in nature, so will be held throughout the term. There will also be some in-class tests such as listening tests. The regular timely submission of homework also forms part of the students assessment. The students will also submit their notebook for assessment at the end of each term.
レポート		
小テストなど	20%	
授業での取り組み	20%	

**教科書・教材**

書名	出版社	備考
Solutions: Elementary - Student's Book	OUP	978-0-19-456183-9 Third Edition
Solutions: Elementary - Workbook	OUP	978-0-19-456186-0 Third Edition

- 担当者からのアドバイス**
1. Try to use English at all times in this class, both with the teacher and your classmates.
  2. Aim to improve, not to be perfect. Do not worry about making mistakes!
  3. Collaborate with your classmates to create a positive and supportive learning environment.
  4. Take neat, detailed notes in class and review all your lessons.
  5. Don't give up and if you forget something: learn it again.
  6. Do all your homework and submit it before the deadline!
  7. Ask if you don't understand anything.
  8. Read as much as you can.
  9. Go online and access English.
  10. Watch movies, listen to songs and learn to enjoy English.